

事例検討

施設名【 】
報告者【 】

基本情報	性別	女	年齢	81歳	要介護度	要介護2	長谷川式	7点	
	家族構成	-	障害高齢者の日常生活自立度	A1		認知症者の日常生活自立度	III a		
	疾患名	高度アルツハイマー型認知症(H20/6月)、脳梗塞後遺症。夜間せん妄。大腸がん術後(H13/4月)、高血圧症(H18/5月)便秘、慢性胃炎、不眠症							
	内服	リスパダールOD、セロクエル(朝夕)、アムロジン(朝夕)グラマリール(朝)抑肝散7.5(朝昼夕)、ガスコン(3錠、朝昼夕)、ガスモチン(3錠、朝昼夕)							
	水分・食事・運動制限の内容	水分制限	なし	食事制限	なし	運動制限	なし		
ケア実践取組み状況成果	第2回目研修を受けて取組み方針	サービス付高齢者住宅の管理者に集団体操、ゲームなどできないか相談に行く。 長谷川式を訓練士に実施してもらう。 服薬についてもう一度確認し、ケアマネに相談してみる。 ドリンクメニューを作ろうと思った。							
		ケア研修前	工夫したこと					取組み後の変化	
	水分	1,000cc	デイのドリンクメニューを作りお好みの飲み物を飲んで頂くようにした。 夜間自室にはペットボトルもって入って頂く。					1,600cc	
	食事	BMI : 26.5	おやつに、チョコレートなどを食べて頂く。 サービス付高齢者住宅で管理。					BMI :	
		食事摂取 : 1,260kcal ■常食 □粥食 □きざみ □ペースト						食事摂取 : Kcal □常食 □粥食 □きざみ □ペースト	
	排便	排便 : 週 7回	自室のトイレで排便されるため自己申告。					排便 : 週 7回	
		下剤 : □有 ■無						下剤 : □有 □無	
	運動	室内の集団体操	サービス付高齢者住宅の管理者に相談する。 「そういうことも考えなければ」と前向きな意見頂く。 デイではなるべく立ってゲームする。						
	人生歴・プライド重視の取組み	看護師の経歴があるため包帯巻をもらった。							
	ケア実践成果 ※精神面・行動変化	長谷川式実践前は7点。9/2に実施。 10点だった。質問に対して考えることされずあきらめが早かった。 服薬について、「クリマリール」は服薬されていないことが分かった。 レク中輪になって個々にインタビューすることがあり、以前は声も小さく「知らない」と言ったことが多かったが笑顔で話すことが多くなってきた。							
周辺症状改善	同じことを何度も言ったり聞いたりする	○	失禁					○	
	不眠、昼夜逆転(一日ぼーっとしている)	○	昔の事覚えていない(記憶障害)					△	
	しまった場所が分からない	○	せん妄(腰の痛みから)					○	
	表情が乏しい	○							
実践で困っている事 講師に聞きたいこと									

※周辺症状の改善：◎改善 ○ほぼ改善 △やや改善 ×未改善